



『第11回むつき庵はいせつケア実践報告会』

ご参加ありがとうございました



11月19日にラポール京都4階第12会議室にて、「第11回むつき庵はいせつケア実践報告会」を開催いたしました。昨年は新型コロナ感染拡大のため開催中止となりましたが、丁寧な感染対策をとって、2年ぶりにリアルで開催することが出来ました。今回は、後日、当日の様子をむつき庵 facebook 等にて動画配信をして多くの方にご覧いただくことを中心に開催し、当日の参加者は総勢31名の方がお越し下さいました。

排泄ケア大賞には「『資格取得から排泄ケア実施への長い闘い』～施設職員一人一人の意識改革からケアを考える～」と題して発表された障害者支援施設沢谷荘の吉田拓郎さんが受賞され、排泄ケア特別賞には、「医療現場における全人的な排泄ケアを目指して」と題して発表された社会医療法人純幸会関西メディカル病院の杉原多可子さんが受賞されました。発表された6組のいずれの実践報告も素晴らしく、回を重ねるごとに発表される内容のレベルが向上していますことをあらためて実感するものです。

ご講演をいただきました泌尿器科医市川晋一氏は「認知症高齢者の排尿障害」と題して、排尿障害と認知症について医学的な知識やお薬について丁寧に、ユーモアを交えて楽しくご講演されました。

小さな試みですが、排泄ケアをより良く変えていくその一歩になれば幸いです。

なお、当日の様子をむつき庵ホームページや facebook 等にて動画配信をアップさせていただいております。

語るできよちゃん

何かを始めたいという意志、希望は、一人だけでは育まれないものであること。

そんな意志をかたちにしていくときは、いつも一人ではなかったこと。

この会社を運営するなかで、改めてこのことに気がきます。

ともに始めた方々、研修を継続するなかでしっかり出会う方々、

「他者」は私にとっていつも眩しくて、大切に、でもときに悩ましい存在でした。

そして、だからこそ、そんな方々と出会えたことが嬉しく、この場所を柔軟でさまざまな意味で豊かな場所に

できればと願います。

(「むつき庵15周年に寄せて いつかむつき庵が」〈15周年記念誌〉より)



バリアフリー2021『おむつコーナー』に、ご来場いただきありがとうございました

★バリアフリー2021は緊急事態宣言下の開催となって仕舞い、感染対策をしっかりとって、その中で出来るスタイルで「おむつミュージアム～気持ちのよい排泄～」をテーマに「おむつコーナー」を運営させていただきました。特設ステージではむつき庵認定講師による「ミニ・セミナー」を開催し、むつき庵紹介の動画を上映しました。来場者に7つのサンプルを見て「これがおむつと思うものを選んで」シールを張り付けて投票していただく「おむつアンケート」を実施しました。

★バリアフリー展準備日から開催期間を通して、延べ100名近くのメーカー様やおむつフィッターのボランティアさんにご参加くださいました。主催者発表3日間で11,406人の来場者があったとのこと、例年になく静かなバリアフリー展となりましたが、そんな中でも「おむつコーナー」には大勢の方々が来てくださり、心から感謝いたします。

★27日(金)浜田きよ子&熊井利将の特別講演「事例から考える排泄ケア・ケアの大切なポイント」が同じ6号館2階F会議室にて開催されました。

(来年のバリアフリー2022は、2022年6月8日(水)～10日(金)インテックス大阪にて開催されることが決まっています)



「レポート⑮」小林貴代さん



森ノ宮医療大学に赴任して早6年。(初代おむつフィッター倶楽部代表を辞し、コロナ禍においてはバリアフリー展にしか参加できていません、すみません) 浜田きよ子氏いわく「おもちゃ箱をひっくり返したような・・・」活動に共感しながら、すべての排泄を行う人たちとともに、困りごとをみんなで共有し、その人が望む生活を決してあきらめない。

このスタンスを昔も今も、忘れないように頑張っています。

The Best (最上を目指し、最善を尽くす) 座右の銘です。ともに目指しましょう。

森ノ宮医療大学 保健医療学部 作業療法学科 作業療法士

小林貴代(私もきよちゃんです)

